

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103136
法人名	医療法人 創実会
事業所名	グループホーム はなの家
所在地	松山市六軒屋町3 - 19
自己評価作成日	平成21年 10月 14日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

母体が医院であり、隣接する関連施設や泌尿器科もあるので医療連携体制がしっかりしている。ご利用者ご家族、職員の安心感につながっている。
毎年5月に「はな祭り」を開催しており、地域の方々との交流の場となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをさせていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外食に行くこともある。調査訪問時、ペラダには、つるし柿が干してあり「好きなんよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。
トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者と、個人的なことについての話は小さな声でされている様子がうかがえた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム はなの家

(ユニット名) 4F 桜

記入者(管理者)
氏名 越智 和也

評価完了日 H21年 10月 14日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員は理念を認識しており、日々のケアにつなげられるよう努めている。	
			(外部評価) 「ぬくもりは我が家のように」という理念のもと、各ユニット職員で話し合い、ユニットごとの理念も作成されており、日々の申し送りには、声に出して読み上げておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 民生委員や味酒小学校の生徒の来訪がある。また、他のグループホームの夏祭りへ参加し関わりを持っている。	
			(外部評価) 味酒小学校のクラブ活動「ふれあいクラブ」の生徒が定期的に訪問してくれており、利用者とは折り紙をしたりゲーム等をして楽しませてくれている。地域のサロンに利用者とともに参加して、地域の方との交流をされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営母体である医院の医師が認知症についてのセミナーを行ったり、中学生の職場体験を受け入れている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎回、消防署の方に参加して頂いており、小規模でも定期的に避難訓練をするようアドバイスを受けたことで、月1回訓練を行うようになった。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議では、事業所の行事等の活動報告をされたり、時には職員が外部研修で知り得た、おやつを試食していただいたこともある。地域の方から地域の行事の案内をいただいた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>松山市社協の研修へ積極的に参加し、交流を図っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>市の担当者に、ご家族からの相談ごとや利用者の生活支援について相談されることもある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>経管栄養のチューブを抜かないようミトンをして頂いている利用者があるが、家族からの同意を得ている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在は、経管栄養のチューブを抜いてしまう方についてミトンを使用しているが、ご家族と相談しながら、利用者の気が紛れるような工夫を重ね、少しでも、ミトン使用の時間が短くなるように取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日頃のケアでは特に言葉掛けに注意し、利用者の自尊心を傷つけないよう心掛けている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度については、職員ミーティングや家族会でも説明し、必要な場合は活用できるよう支援している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前に説明を行っており、契約書を保管している。介護報酬の改定により利用料が増加する事など家族会で伝え、理解・納得を得ている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年3回、家族会を設け意見交換を行っている。利用者や家族からの意見は運営に反映できるよう話し合い、サービス向上に努めている。苦情窓口を設けている。 (外部評価) 家族会時には、ご家族も利用者と一緒に行事を楽しまれたり、事業所からは外部評価結果や、介護保険制度の改正時等は詳細を説明されている。季刊誌「はな便り」で、行事、職員の異動、運営推進会議の内容等を報告されている。利用者個々の誕生日には、ご家族も一緒にお祝いできるよう相談しながら支援されている。事業所での生活の様子の写真は注文ができるようになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回のミーティングの中で職員の意見を聞く機会を設けており、管理者は反映できるよう働きかけている。	
			(外部評価)	
			管理者は、職員個々の必要性等も踏まえて外部研修の受講をすすめておられる。職員は毎月のミーティングで、研修時に学んだことを報告されており、職員からの提案で、車椅子の利用者の移動時に使用する「スライドボード」を購入されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			事務長や理事長婦人が職員と一緒に昼食をとり、直接現場の状況をみたり、話を聴くことで就業環境の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修内容や日時を分かりやすくファイルし、個々の興味、意欲に応じて参加できる機会を確保している。(勤務調整など)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			相互研修への参加や、同じ地区にあるグループホームで情報交流会を開き、横つながりのネットワークができています。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前には本人にも見学に来て頂き、ホームの雰囲気を感じてもらっている。不安な事、求めている事を親身に受け止め安心してもらえる対応をとっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	御家族が求めているものを理解し、要望にこたえられるよう話し合いをしながら信頼関係を築いている。
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	事業所の利便性を活かしながら、柔軟な対応と支援ができるよう見極めている。
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	お互いが協働しながら支え合う関係づくりに努めている。また、利用者同士が自然に関われるよう配慮している。
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	暮らしの出来事や気づきの情報を共有し、本人と一緒に支えていけるよう家族の思いに寄り添いながら関係を築いている。
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	家族への電話やお墓参り、敬老会への参加など家族の協力を得ながら継続的な交流ができるよう努めている。
			(外部評価)	
			職員とともに地区の敬老会に出かけ、ご家族が日舞を舞う姿を楽しまれた。又、小学生のお孫さんの運動会を見に行かれた方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食材の加工(絹さやの筋取り、大根おろし、野菜の皮むきなど)はテーブルを囲み輪になって、皆でコミュニケーションをとりながら作業できるよう支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービスの利用が終了しても”はな祭り”の案内など送っており、実際に来て下さる家族もいる。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの思いを汲み取るよう働きかけている。困難な場合は家族から情報を得ながら本人の希望に添えるよう検討している。 (外部評価) 職員は、利用者がしゃべりやすくなるよう、「にこにここと聞き役になる」ようにかかわり、利用者の思いの把握に努めておられる。	今後、職員は記録の研修に参加する予定になっており、書式等も工夫していくことを検討されている。さらに利用者個々のアセスメントの充実を図り、ケアにつなげていかれることが期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人のバックグラウンドの重要性と家族にも理解して頂きながら、出来る限りの情報を持って支援に反映させている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日頃の生活リズム、活動、心身状態を個人記録に残し、職員間の申し送りや検討のもと現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月1回アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っており、本人や家族の思いを反映した介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>担当職員がご本人、ご家族の要望を聞き取り、カンファレンス時に話し合い、介護計画に採り入れて作成されている。ご家族には、計画について内容を確認していただき、ご意見をうかがっておられる。毎月の職員ミーティングでモニタリングをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録やケアチェック表などの日々の記録で職員間の情報を共有し、介護計画の評価と再アセスメントに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在居室は満床の為、ショートステイは不可能であるが、家族の宿泊時にはベッドや食事の提供はできる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議などを通じて民生委員や消防署、地域包括支援センターとの協働を得ており安心・安全な生活への支援を行っている。また、訪問マッサージや移動美容室なども活用している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>母体医院の主治医の週1回往診を受けている。また、 眼科、歯科、皮膚科の訪問診療を受けている方もい る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>休日以外は、母体病院へ「物療」に行かれる方がい る。敷地内に母体病院があり、24時間対応してくれ る。以前からのかかりつけ医への受診は、ご家族が付 き添っておられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各ユニットに1名の看護職員が配置されている。母体 医院の看護師とも連携が取れており気軽に相談でき る。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で けるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>母体医院だけでなく、他の病院とも連携を密にし情報 交換や相談を行っている。職員はお見舞いし、洗濯物 を預かるなどしている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ターミナルケアの受け入れには希望に添えるよう医 師、家族と話し合い、十分に説明した上でチームで支 援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>医師である法人代表者の勉強会が行われている。利用 者の状態変化時には、必要に応じてご家族や医師を交 えて話し合われており、今年、看取り支援を行った 際、ご家族は、食事介助されたり、居室に宿泊して、 とともに協力しながら看取られた事例がある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防の応急救護の研修に参加したり、救命士を招きグループ内で応急救護の講習会を行うなど対応方法を身につけた。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練を実施している。10月には利用者を含め訓練を行った。地域の協力は運営推進会議を通じ協力をお願いしている。	
			(外部評価) 事業所の敷地内は全面禁煙になっている。3~4ヶ月に一度、実際に布団等を使用して職員で避難訓練をされている。運営推進会議時に救急法、AEDの使い方の講習が行われて、今後は、消防署の方に勝山地区の避難場所について等、講演していただくようになっている。	建物の2, 3, 4階部分にホームがあり、車椅子を使用されている利用者も多く、職員の不安もある。いざという時に駆けつけてくれるような協力者を増やし、又、いろいろな場面を想定した訓練を行い、利用者、職員の安心と安全に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 理念に掲げているように一人ひとりの"人格を尊重し"どんな状況でもプライドとプライバシーを損ねないよう和らかな言葉掛けを心掛けている。	
			(外部評価) トイレにタオルを準備し、トイレ介助の際には、ひざにかけたり、利用者の状態を見ながら、外で待つ等、プライバシーに配慮されている。調査訪問時、職員は利用者、個人的なことについての話は小さな声でされている様子うかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人が自己決定しやすい雰囲気づくりと場面の演出をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にし体調にも配慮している。しかし、入浴や食事、行事は職員の都合が優遇されることも少なくない。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 髪を染めたり、自分で洋服をコーディネートしたり、個々がおしゃれを楽しめるよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) テーブル拭きや配膳、食器洗いから調理の補助まで一人ひとりの能力に応じて見極め、できる力を発揮して頂き「食」への意欲を高めている。	
			(外部評価) 利用者には野菜の下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付けをしていただいている。利用者に食べたいものを聞き、回転寿司などの外食に行くこともある。調査訪問時、ベランダには、つるし柿が干してあり「好きなんですよ、食べ頃になったらこっそり食べよ」と楽しみにされている方もあった。利用者の誕生日には、ご本人のお好きなメニューでお祝いされており、経管栄養の方も、医師と相談しながら無理することなく、口から食べることを楽しむことができるように支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事摂取量や特に注意の必要な利用者の水分摂取量など随時記録し、栄養や水分が確保できるよう努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 起床時と毎食後は一人ひとりの力に応じた口腔ケアをお手伝いしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>トイレでの排泄を大切にしながら、紙パンツ・パット類も本人に合わせて検討している。失敗してしまっても本人が傷つかないように十分配慮しながら対応している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者個々の排泄パターンを記録して把握に努め、時間で声かけされ、トイレでの排泄ができるよう支援されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>便秘傾向の利用者には牛乳やヨーグルト、バナナ等で十分な水分と食物繊維を提供し、適度な運動と腹部マッサージなど支援している。また、緩下剤も使用することもある。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入浴への不安や拒否（暴言や暴力）がある方へは、安心できる言葉掛けや対応の工夫をしている。同性の職員の支援を望まれる方へは心情を察した配慮をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分の石鹸やシャンプーを準備されている方もあり、入浴時間の希望を言われる方は、希望の時間に入浴できるよう支援されている。現在、シャワー浴や清拭での支援になっている方がいる。</p>	<p>ご本人、ご家族の入浴の希望や要望等も聞きながら、主治医とも相談して湯船で温まる等、ご本人がくつろげる入浴を支援していかれてほしい。</p>
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中の活動や夜間良眠して頂くための生活リズムを整えつつも、本人の希望や状況をみながら休息をとれるよう働きかけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬は誤薬や飲み忘れがないように職員が管理し、一人ひとりが飲みやすいよう(オブラート使用、粉碎等)支援している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 畑の手入れや食事の準備、洗濯物たたみなど一人ひとりの力を活かせる役割を持って頂いており日々の活力と生きがいにつながっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 介護タクシーを使って家族さんと馴染みの場所へ外出されたり、定期的にヘルパーさんとドライブへ行かれる方もいる。	
			(外部評価) 事業所の周囲の散歩や、近くのスーパーやホームセンターに買い物に行かれたり、バラ展やサツキ展に出かけることもある。誕生日には、利用者の希望でご自宅で宿泊された方もおられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) おこづかいは基本的には職員が管理している。スーパーや移動パン屋での小さな買い物の際は自分で支払ってもらうよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 親戚からの手紙やお歳暮などが届くと、お礼と近状報告を兼ねて電話ができるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
				フロアの飾りつけは、気持ちが和むもの、懐かしく感じるもの、季節を感じるものを中心に選び制作して配置している。冬は床暖房、夏は冷房があり居心地よく過ごされている。	
			(外部評価)		
			居間の壁面には、職員の名前入りの写真や事業所での1年の行事予定表が貼ってあった。調査訪問時には、クリスマスツリーが飾られていた。又、干支の絵が貼ってあり、その下には利用者の生年月日と名前があり、時にご自分の年齢のこと等がおしゃべりのきっかけになっている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)		
				リビングには日当たりの良い場所にソファがあり、日向ぼっこしながら一人で過ごせる居場所がある。	
			(外部評価)		
			お孫さんの結婚式の写真や、ひ孫さんの写真を飾っておられる方もあった。趣味の海外旅行での写真や、その際に買って来られた記念のものを置いておられる方もあった。部屋でラジオや歌を聴いて過ごされる方もある。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
				本人が使用していた馴染みの物を持って来て頂いている。家族との思い出の写真を飾っていらっしゃる方もいる。	
			(外部評価)		
			お孫さんの結婚式の写真や、ひ孫さんの写真を飾っておられる方もあった。趣味の海外旅行での写真や、その際に買って来られた記念のものを置いておられる方もあった。部屋でラジオや歌を聴いて過ごされる方もある。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
				歩行器や自力駆動用の車いす、ポータブルトイレなど一人ひとりに合わせた環境整備に努めている。	
			(外部評価)		